

東北地方 太平洋沖地震

日野町で広がる

支援の輪

被災地での活動

5月28日(土)から6月3日(金)まで、厚生労働省から要請を受けた滋賀県の派遣保健師チームの一員として、町職員(保健師)1名が福島県で避難所における避難者の健康支援に携わりました。

広がる募金活動

5月18日(水)、日野町ゴルフ協会(前田一昭会長)では、第6回会長杯・東日本震災チャリティゴルフコンペを開催されました。149名が参加され、参加者からの募金とゴルフ協会からの募金を合わせた20万円を、中央共同募金会を通して被災地へ届けられました。

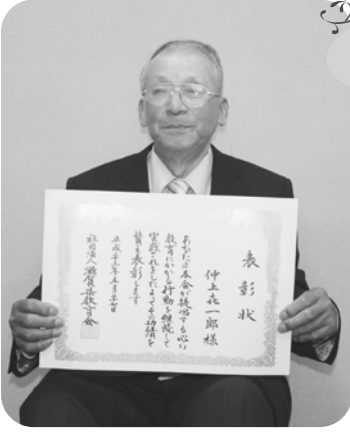


▲藤澤社会福祉協議会長に手渡されました

表彰

心の教育推進事業顕彰者

仲上 崑一郎さん(蔵王)



▲5月27日、ホテルニューオウミで表彰式が開催されました

このたび、蔵王にお住まいの仲上崑一郎さんが、社団法人滋賀県教育会から「平成22年度心の教育推進事業顕彰者」として、表彰を受けられました。

仲上さんは、10年以上前から、西大路小学校で有機米づくりやシイタケ栽培を通して、環境を大切にすことや地域を愛する心を育成し、奉仕の精神を培い、学林の整備や活用などにも、子どもたちとともに活動、指導されてきました。

受賞おめでとうございました。

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

初夏の京都、

鴨川沿いに川床が張り出されていきました。上流は高野川、大原の里があります。高校時代、歌に魅かれて訪れたことも

「京都♪大原三千院♪恋に疲れた女がひとり：京都♪嵐山大覚寺♪：」。古都、京都には「侘び」や「寂び」、「情趣」があります。東山にある南禅寺の琵琶湖疏水の水路閣もステキです。駅前には本願寺があります。

今年、親鸞聖人七五〇回忌。

その大遠忌法要にお参りし、町内の門徒の方々とお会いすることができました。立派に修復された「御影堂」で、北海道から九州まで三〇〇〇人余りの人たちが一堂に会し、法要が営まれました。

来月一月までの間、たくさんの方がお参りされることでしょうか。法要のスローガンは「世のなか安穩なれ」。東日本大震災が起り大変な状況が続いているときだけに、胸にびったりとくるものです。実はこの言葉は、親鸞聖人の言葉な

のです。

さて、東日本大震災の影響で、神奈川県海老名市立海西中学校は、青森県へ修学旅行の予定でしたが行けなくなりました。そのため、急遽、日野に来られました。旅行の行程は、バスで日野に来て二泊三日を過ごし、バスで帰るというもので、どこにも寄らず、ズバリ近江日野田舎体験が修学旅行なのです。校長先生は「かつて、学校が荒れていた時がありました。農村体験旅行などによって落ち着きました。子どもたちが人と人との絆の大切さに気付くことは素晴らしいことです」と話され、

「日野でも良い修学旅行ができました」と喜んでくださいました。離村式では、いつも子どもたちに「都会も田舎もあってこの国がある。支えあって生きていきましょう」と話しています。

東日本大震災で、人と人との絆を大切に助け合って生きる社会、コミュニティの大切さが再認識されました。そして、国や自治体がいかに役割を果たすことの大切さも再確認されました。「安穩な世のなか」をつくるために力を合わせたいと思います。